

EB 描画前のレジスト塗布

準備する物

1. OAP
2. PMGI-SF6
3. ZEP520A-7
4. エスパーサー 300Z
5. ウエハ
6. アダプタ 1
7. アダプタ 2
8. アルミホイル
9. ゴーグル
10. EB 描画用ボックス
11. 手袋？

1 階冷蔵庫(入り口正面突き当たり左)

- ・ OAP
- ・ ZEP520A-7
- ・ エスパーサー300Z

3 階冷蔵庫(ドラフト右 1 個目)

- ・ PMGI-SF6

3 階フォトリソ室棚下段

- ・ ゴーグル
- ・ EB 描画用ボックス(温度測定器)
(SF6 はこれに入れて持ってくる)

1 階尾辻研棚中段右側

- ・ ウエハ
- ・ アダプタ 1

1 階ホットプレートコーナー

- ・ アダプタ 2
- ・ アルミホイル

1. 前準備

- ① 作業開始 30 分前に冷蔵庫からレジスト類を取り出し常温にする
- ② ホットプレートにウエハを置く
- ③ ホットプレートを 180℃に加熱する

●ホットプレートの操作方法

スイッチ ⇒ ENT(SET) ⇒ PLATE TEP(1) ⇒ 180 ⇒ ENT

2. スピンコータの準備

- ① 温度測定器でホットプレートの温度が 140~150℃になっていることを確認
- ② 手袋を重ねて(でもこれ履くと滑りやすい)
- ③ スピンコータにアルミをセット
- ④ アダプタ 1,2 をスピンコータにセット
- ⑤ 机下のブレーカ ON
- ⑥ PROGRAM No.0 SEQUENCE No.12 にセット

#12 条件

3. OAP の塗布

- ① サンプルセット(表裏の確認忘れずに)
- ② VACCUM MODE ボタン ON (VACCUM ランプ点灯)
- ③ 蓋を閉めて START ボタン ON (空回しをして正常か確かめる)
- ④ 蓋を開いてゴーグルをつける
- ⑤ OAP を 3~4 滴垂らす
- ⑥ 蓋を閉めて START ボタン ON

4. SF6 の塗布

- ① SEQUENCE No.27 にセット
- ② タイマーを 2:00, 5:00 にセット
- ③ 蓋を開いて SF6 を 3~4 滴垂らす
- ④ 蓋を閉めて START ボタン ON
- ⑤ 蓋を開いて VACCUM MODE ボタン OFF
- ⑥ サンプルをウエハに置く(ピンセットで基板表面を傷つけないように注意)
- ⑦ 2 分間ベーキング
- ⑧ サンプルをコットンの上に移動(15s 前くらいにプレートに接着してないか確認)
- ⑨ 5 分間常温待機

#27 条件

5. ZEP の塗布

#27 条件

- ① SEQUENCE No.17 にセット
- ② タイマーを 3:00, 5:00 にセット
- ③ サンプルセット(表裏の確認忘れずに)
- ④ VACCUM MODE ボタン ON (VACCUM ランプ点灯)
- ⑤ ZEP を 3～4 滴垂らす
- ⑥ 蓋を閉めて START ボタン ON
- ⑦ 蓋を開いて VACCUM MODE ボタン OFF
- ⑧ サンプルをウェハに置く(ピンセットで基板表面を傷つけないように注意)
- ⑨ 3 分間ベーキング
- ⑩ サンプルをコットンの上に移動(15s 前くらいにプレートに接着してないか確認)
- ⑪ 5 分間常温待機

6. 300Z の塗布

#27 条件

- ① SEQUENCE No.17 にセット
- ② タイマーを 5:00 にセット
- ③ サンプルセット(表裏の確認忘れずに)
- ④ VACCUM MODE ボタン ON (VACCUM ランプ点灯)
- ⑤ 300Z を 4～5 滴垂らす
- ⑥ 蓋を閉めて START ボタン ON
- ⑦ 蓋を開いて VACCUM MODE ボタン OFF
- ⑧ サンプルをコットンの上に置く(自然硬化)
- ⑨ 5 分間常温待機
- ⑩ ケースに収納

7. 片付け

- ① ホットプレートの電源スイッチ OFF
- ② 机下のブレーカを切り、スピンコータの電源 OFF
- ③ 酸アルカリベンチ(U1,U2)の純水槽側でアダプタを洗う(ダイレクトに水)
- ④ エアーガンとコットンで水気を取る

8. EB 描画設置準備

- ① B,C,D のどこに設置するか決める(事前連絡)
- ② アダプタで蓋を開ける
- ③ 設置

